

# 池袋から、 文化の居場所、 再発見。

喫茶店や古本屋、百貨店、映画館やギャラリー、かつて街には人々が集い文化の息づく場所がそこかしこにありました。今、地域コミュニティの創造や再生が求められる中、公共ホールに課せられた役割、そしてその実現に必要な発想はどのようなものなのでしょうか。昨年度より好評の講座「公共ホールのつくり方と動かし方を学ぶ」では、どなたでもご参加いただける公開講座とシンポジウムを開催します。まだ、どこにもない、これからの「文化の居場所」や「まちと劇場」について、一緒に考えてみませんか？

立教大学 社会デザイン研究所 主催

日程

2016年1月31日(日)

会場

あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)

公開講座「文化の居場所」  
シンポジウム「まちと劇場」

立教大学 社会デザイン研究所 主催

# 2015

## 冬期集中講座

### 公共ホールの新しいかたち / 可能性。

家庭や、学校・職場、ではない「第三の場所(サード・プレイス)」。オープンで、居心地がよく、交流が作り出される場所。これからの公共ホールには、人々があつまり、コミュニティの結び目となるためのデザインが求められています。「公共ホールのつくり方と動かし方を学ぶ」集中講座では、公共ホールの多様な“可能性”と、そこでの“専門人材”のあり方を社会デザインの視点から考えます。夏の講座には、全国各地のホールや自治体職員の方々、舞台芸術の実演家や建築家をはじめ、たくさんの方にお集まりいただきました。発展編の冬期集中講座を、豊島区東池袋の「あうるすぽっと」で行います。現在活動しているホールや、これから設置や改修を予定しているホールに関わっている関係者の方、そして「明日の公共ホール」に関心を持つ方々の参加をお待ちしています。

日程

2016年1月28日(木)～1月31日(日)

会場

あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)

冬期集中講座 受講生募集

# 2015

## 公開講座 / シンポジウム

入場無料 ※要申込

共催 豊島区、あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)、立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科  
後援 豊島区観光協会



共催 豊島区、あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)

協力 いわき芸術文化交流館アリオス、NPO法人劇場創造ネットワーク/座・高円寺、小金井市 宮地楽器ホール(小金井市民交流センター)  
茅野市民館 指定管理者 地域文化創造、久留米シティプラザ ※平成28年開館予定

